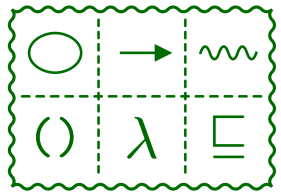


# 並行システムの検証と実装

## 第6章 プロセスの動的生成と終了

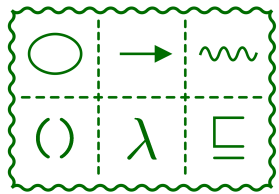
PRINCIPIA Limited

初谷 久史

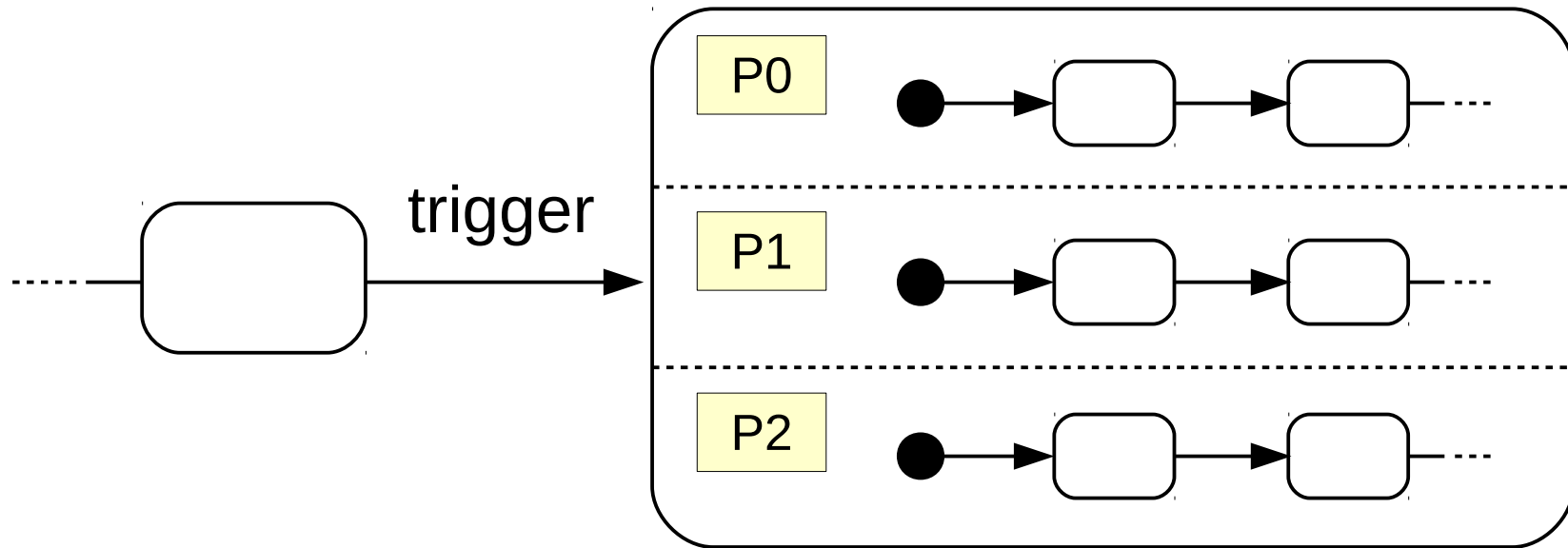


# プロセスの動的生成と終了

- 並行合成  $\text{par}$  によるプロセスの動的生成
- 並行プロセスの終了
- 親プロセスの継続
- 従属プロセスの終了

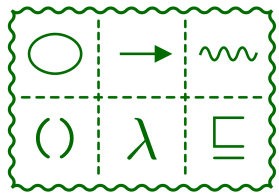


# 並行合成 par によるプロセスの動的生成



パターン

```
(! trigger  
  (par sync-list  
    P0  
    P1  
    P2))
```



# 動的生成の例

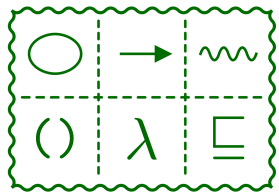
```
(define-process P  
  (! trigger  
    (par (list mid) P0 P1)))
```

P0 と P1 を動的に生成する

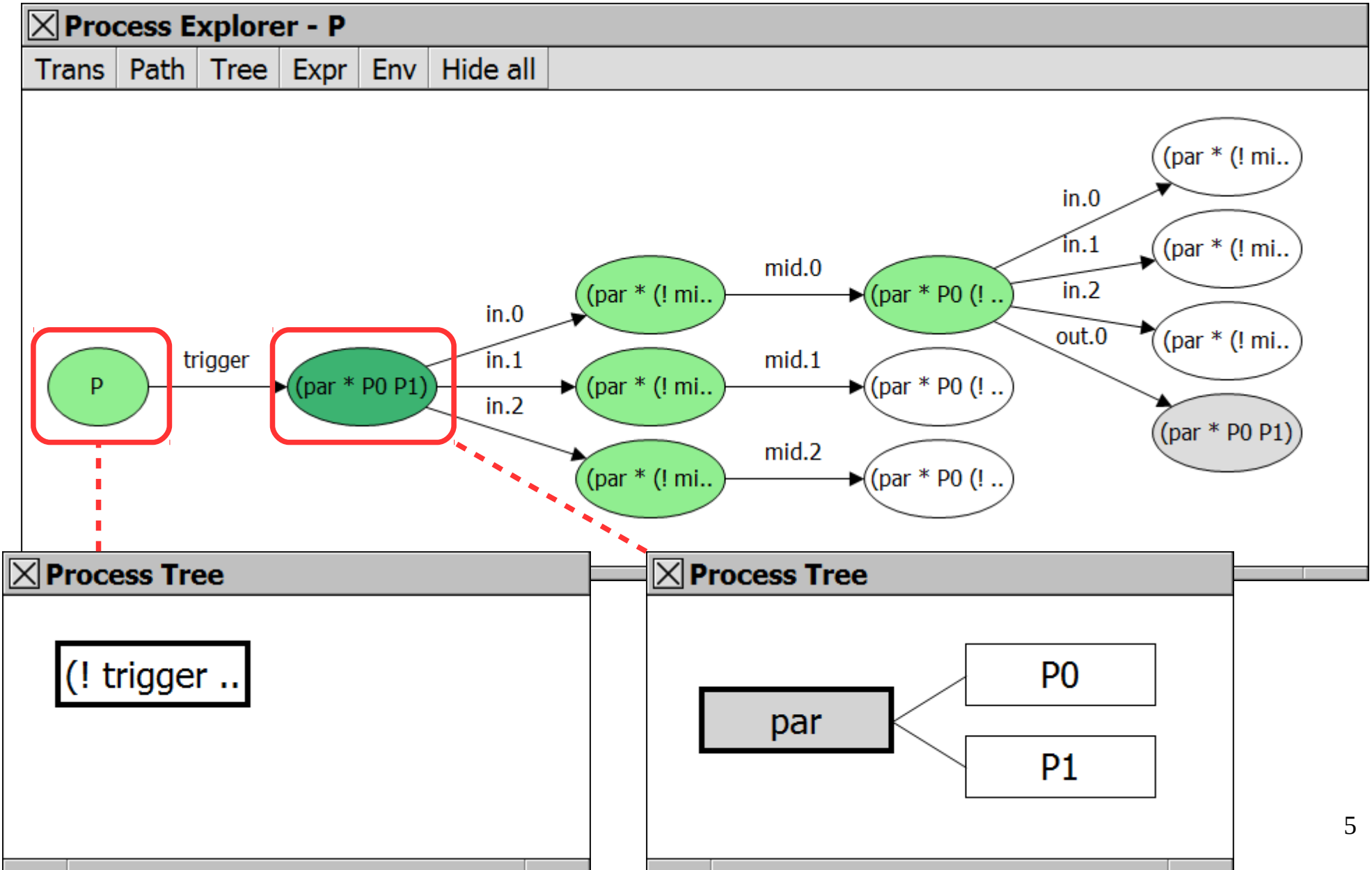
```
(define-process P0  
  (? in (x) (! mid (x) P0)))
```

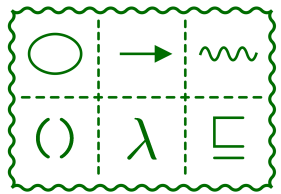
```
(define-process P1  
  (? mid (x) (! out (x) P1)))
```

チャンネル通信の例



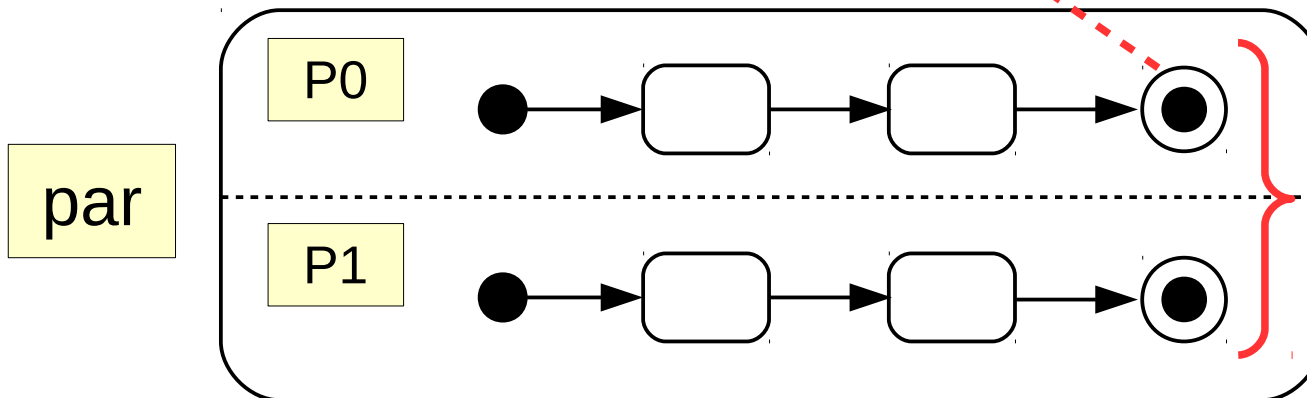
# 動的生成の計算木





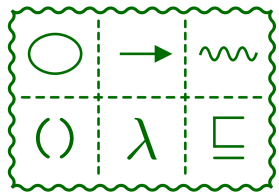
# 並行プロセスの終了

並行プロセスはそれぞれ独立に終了できる



すべてのサブプロセスが終了すると合成系が終了する

合成系を外から観た場合  
終了は1度だけ

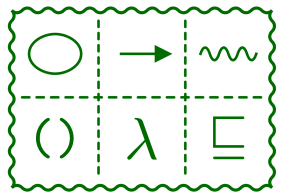


# 並行プロセスの終了: 例

```
(define-process P  
  (! c  
    (par '() P0 P1)))
```

```
(define-process P0  
  (! a SKIP))
```

```
(define-process P1  
  (! b SKIP))
```

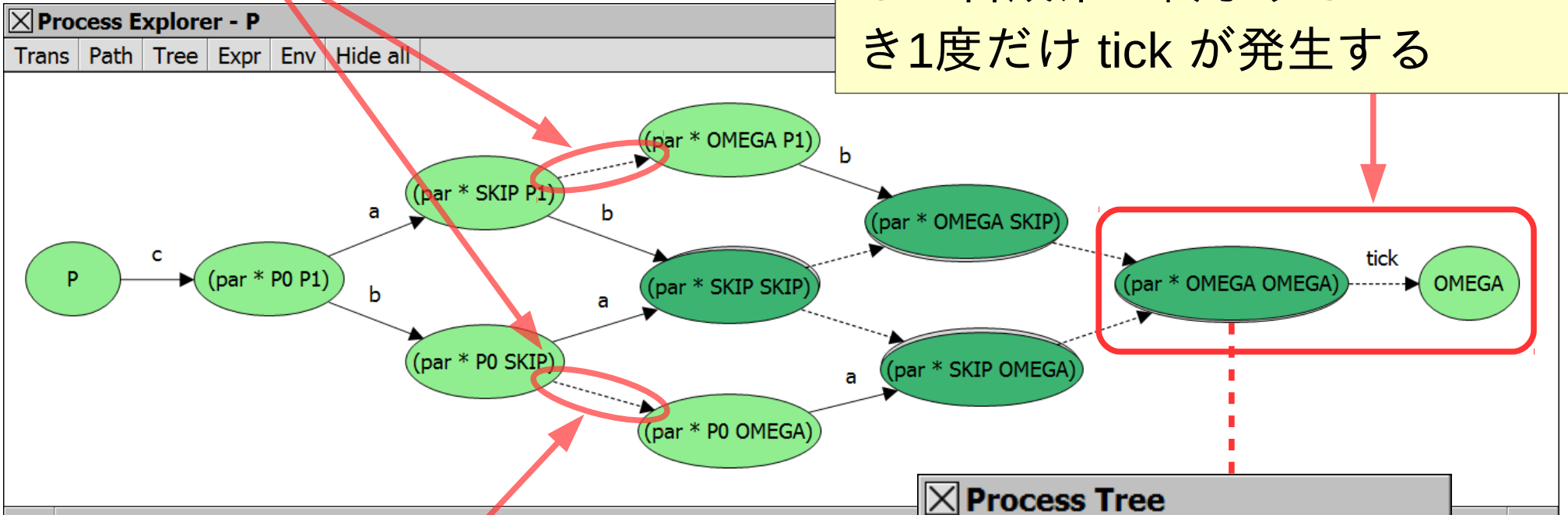


# 並行プロセスの終了: 計算木

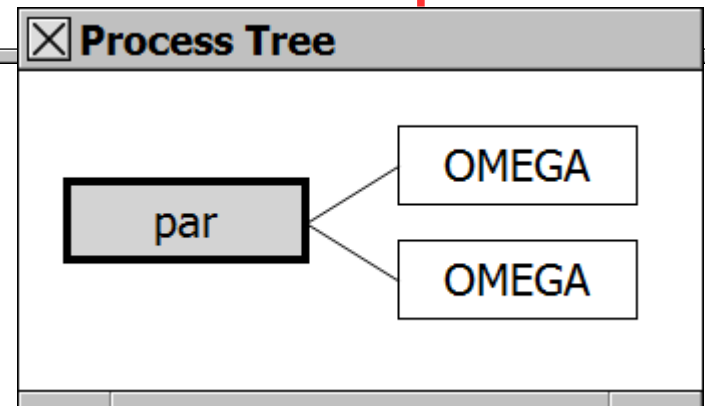
example-6-1-dist-term.ss

P0, P1 それぞれ独立に終了

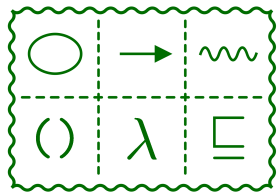
すべてのサブプロセスが終了すると合成系が終了する. このとき1度だけ tick が発生する



par 内部の終了イベント tick は内部イベント tau に変換される (seq 同様)





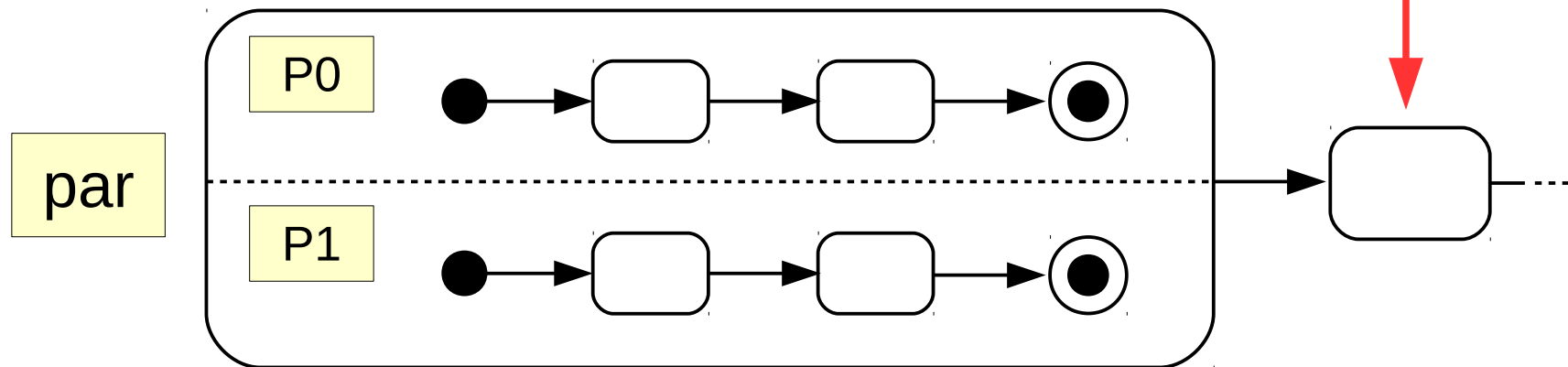


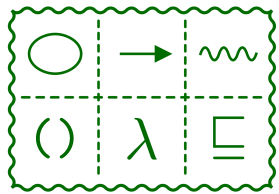
# 親プロセスの継続

par が終了するとプロセス P も終了する

```
(define-process P  
  (! trigger  
    (par (list mid) P0 P1)))
```

par 終了後もプロセス P を継続したい





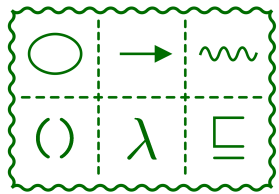
# 親プロセスの継続

seq を使うと par 終了後も処理を続けられる

```
(define-process P
  (! trigger
    (seq
      (par sync-list P0 P1)
      継続処理)))
```

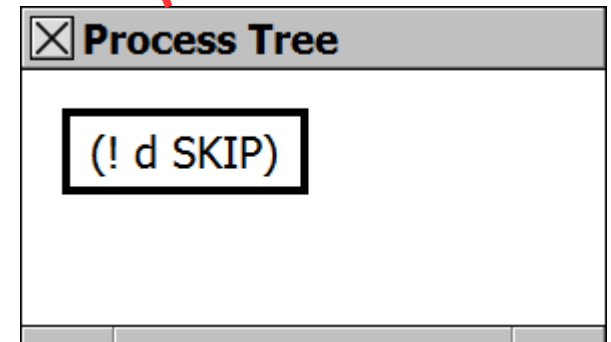
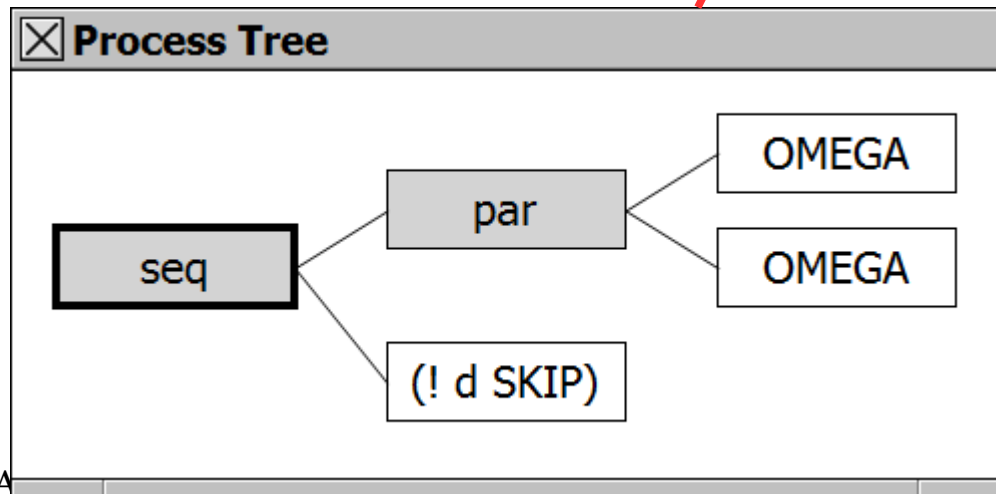
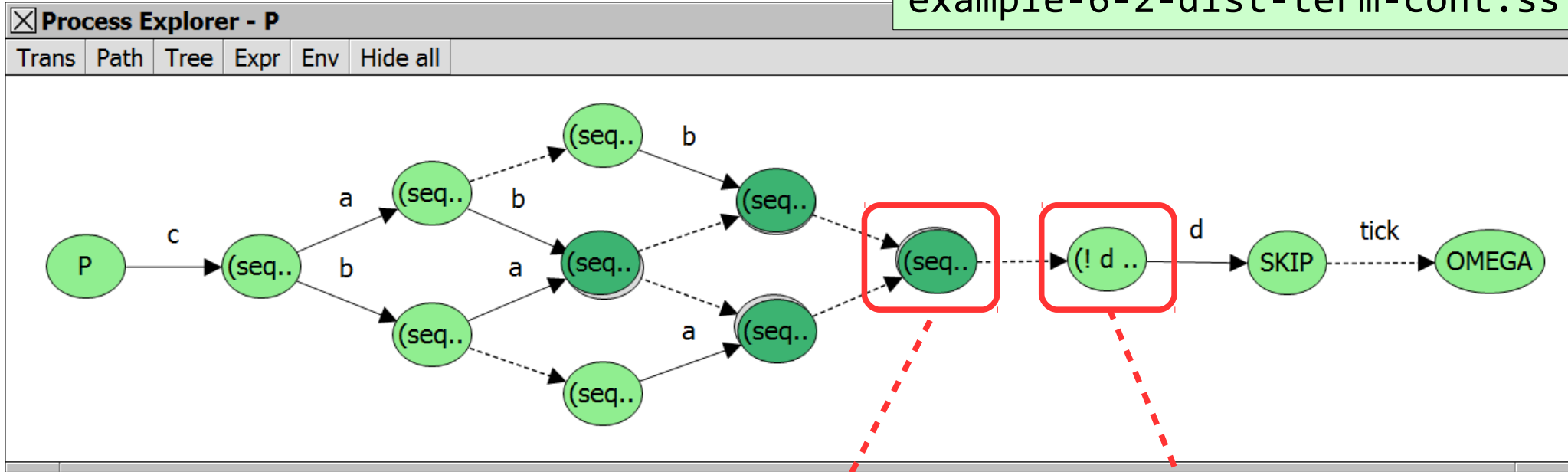
例

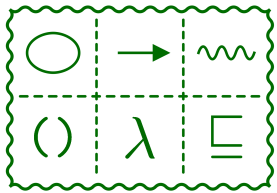
```
(define-process P
  (! c
    (seq
      (par '() P0 P1)
      (! d SKIP))))
```



# 親プロセスの継続: 例

example-6-2-dist-term-cont.ss





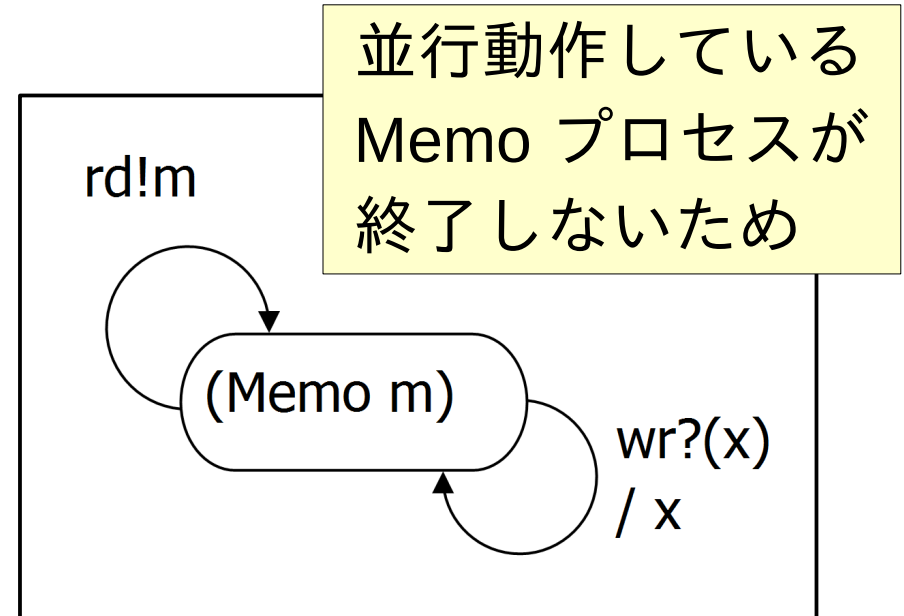
# 従属プロセスの終了

## 再掲: メモプロセスの使用例

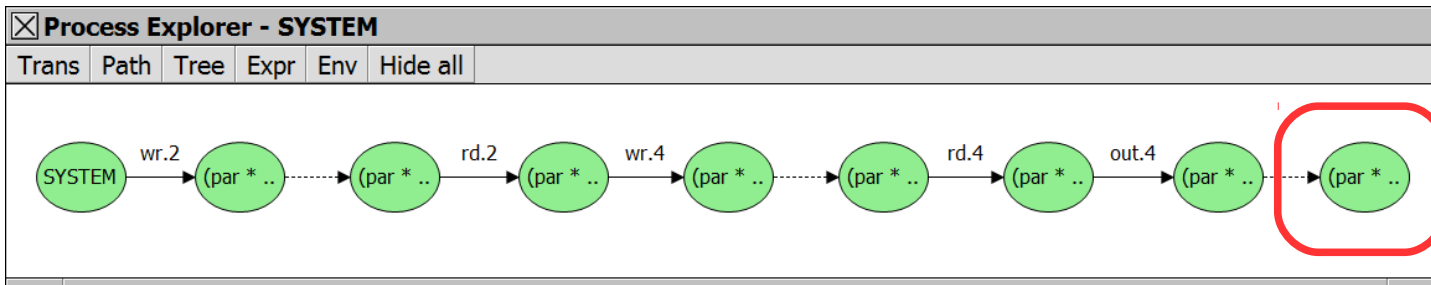
```
(define-process Main
  (seq
    (Doubler 1)
    (? rd (x)
      (seq
        (Doubler x)
        (? rd (y)
          (! out (y) SKIP)))))))
```

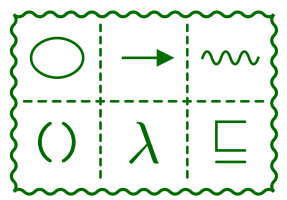
終了を意図している

```
(define-process (Doubler x)
  (! wr ((* x 2)) SKIP))
```



```
(define-process SYSTEM
  (par (list rd wr)
    Main (Memo 0)))
```

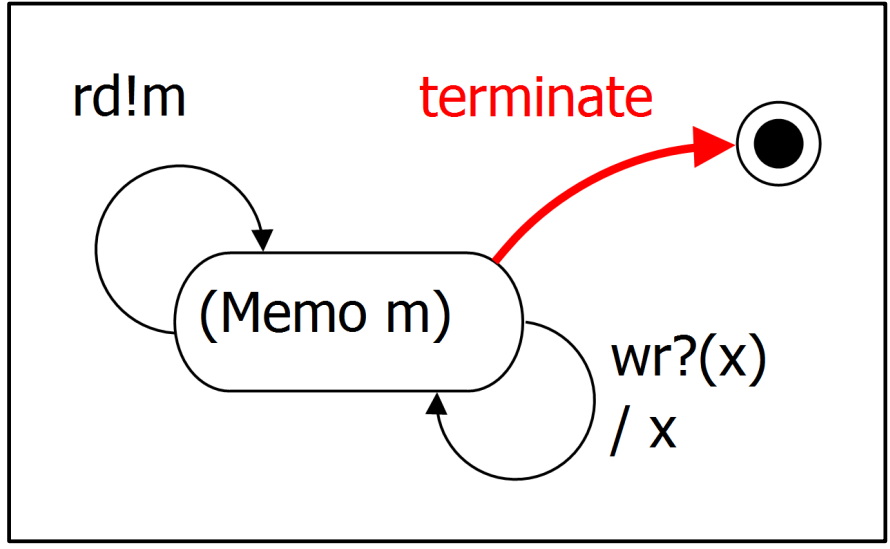




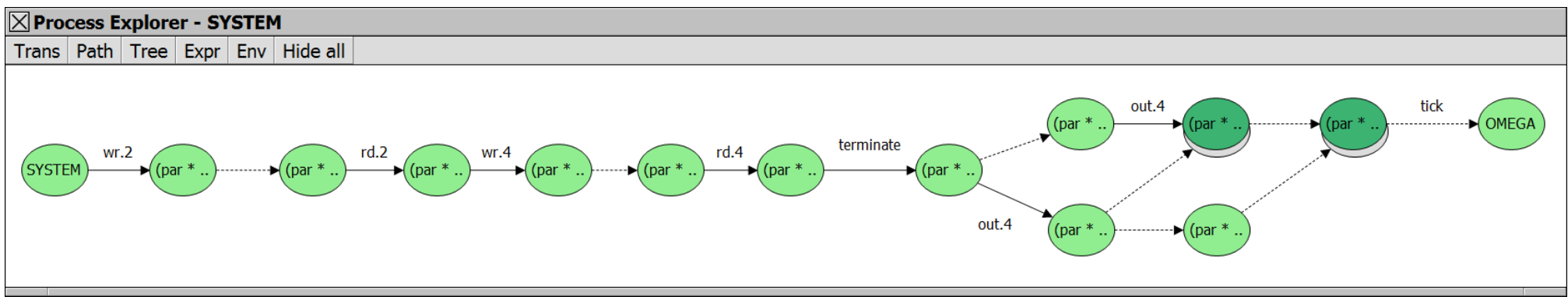
# 従属プロセスの終了

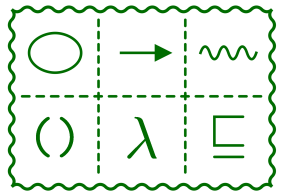
```
(define-process Main
  (seq
    (Doubler 1)
    (? rd (x)
      (seq
        (Doubler x)
        (? rd (y)
          (! terminate
            (! out (y) SKIP))))))))
```

Memo に  
終了を指示



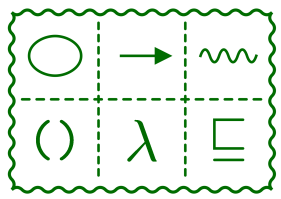
```
(define-process SYSTEM
  (par (list rd wr terminate)
    Main (Memo 0)))
```





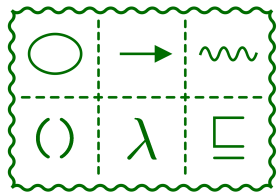
# プロセスの動的生成と終了まとめ

- 並行合成  $\text{par}$  によってプロセスを実行時に動的生成することができる
- 並行プロセスの終了
  - 各サブプロセスは独立に終了できる
  - すべてのサブプロセスが終了すると合成系が終了する
  - 合成系の外部から観測したとき各サブプロセスの終了は見えない: 内部イベント  $\text{tau}$  になる

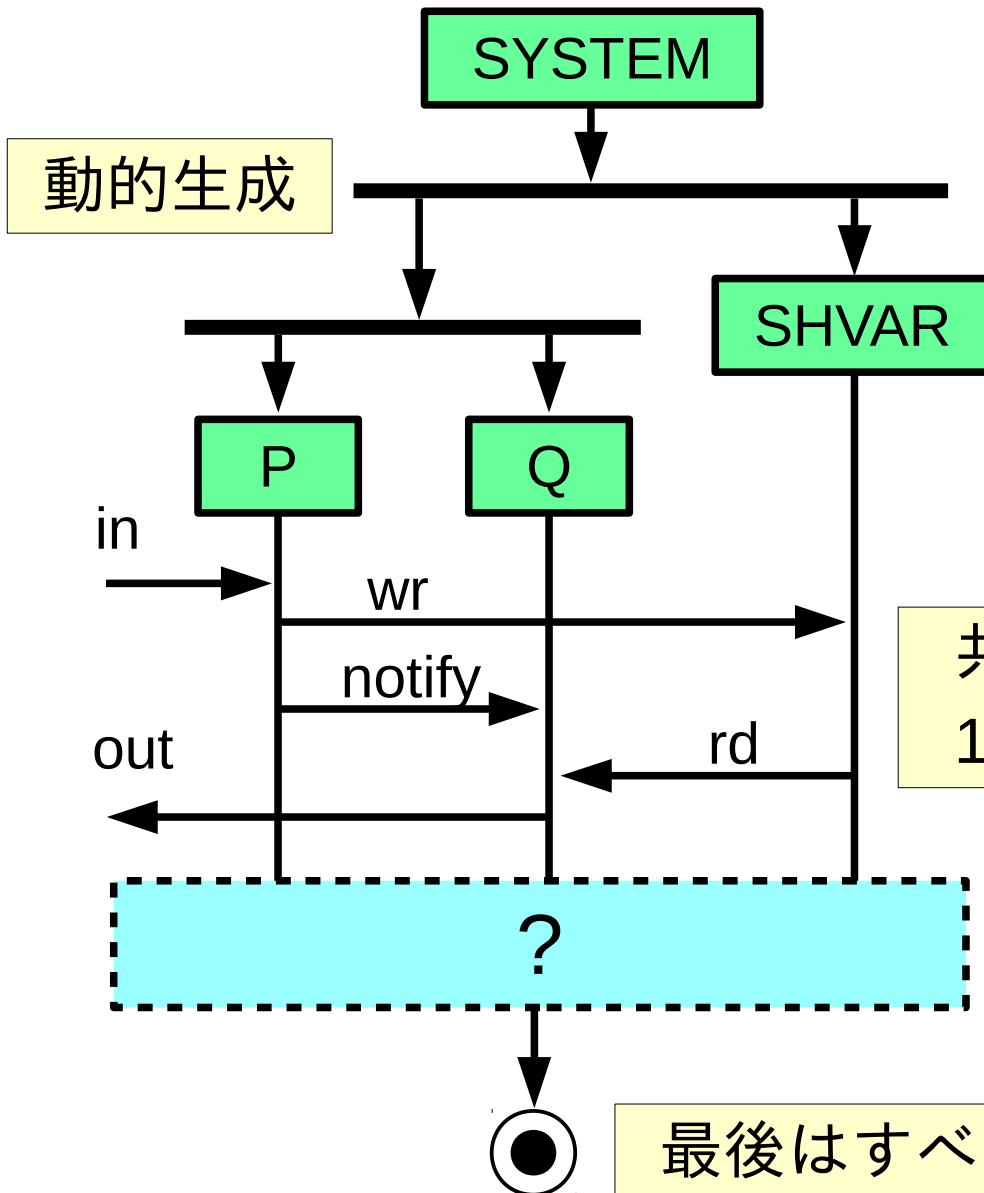


# プロセスの動的生成と終了まとめ: テクニック

- 親プロセスの継続
  - プロセスを動的に生成する par を seq に入れると, par 終了後も処理を継続できる
- 従属プロセスの終了
  - 合成系を終了させるために, 従属プロセスに終了指示を出す



# 練習問題

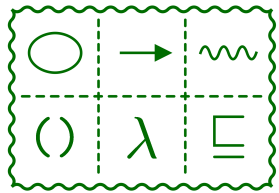


左図のようなシーケンスを実行するシステムのモデルを作成してください

共有変数を通じて  
1回だけデータ交換

最後はすべて終了





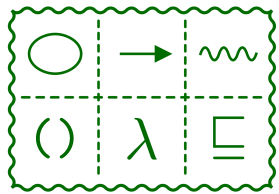
# イベント定義

```
(define M 2)
(define I (interval 0 M))
(define D (map list I))

(define-channel in (x) D)
(define-channel out (x) D)

(define-channel rd (x) D)
(define-channel wr (x) D)

(define-event notify)
(define-event terminate)
```

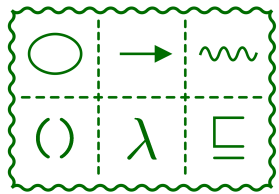


# プロセス定義

```
(define-process (SHVAR m)
  (alt
    (! rd (m) (SHVAR m))
    (? wr (x) (SHVAR x))
    (! terminate SKIP)))
```

```
(define-process P
  (? in (x)
    (! wr (x)
      (! notify SKIP))))
```

```
(define-process Q
  (! notify
    (? rd (x)
      (! out (x) SKIP))))
```



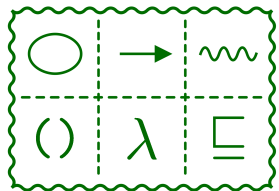
# システムプロセス定義

```
(define-process SYSTEM
  (par (list rd wr terminate)
    (SHVAR 0)
    (seq
      (par (list notify) P Q)
      (! terminate SKIP))))
```

終了通知イベント  
terminate も同期

P-Q 間は notify で同期

逐次合成 seq により P, Q がともに  
終了した後で terminate を発行



# SYSTEM プロセスの計算木

